



ばんクリニック

BAN CLINIC



ばん先生と



“通年性アレルギー性鼻炎”

について知ろう。

鈴鹿市のみなさん、こんにちは。

ばんクリニックの伴直昭と申します。

さて、今回は前回に引き続きダニアレルギー性鼻炎の治療法についてお話させていただきます。

アレルギー性鼻炎には、主に2つの治療法があります。くしゃみ、鼻水、鼻づまりといった症状をやわらげたりおさえたりする薬物療法（対症療法）と、アレルギーそのものを治療することで原因物質（アレルゲン）に対しての体質改善が期待できるアレルゲン免疫療法（根本治療）です。また、アレルゲンを日頃から除去したり、回避することも症状の改善に有効です。鼻から入るアレルゲンの量を少なくすることは、治療の第一歩となります。

アレルゲン免疫療法（根本治療）は、100年以上も前から行われている治療法ですが、近年ではダニアレルギー性鼻炎において、治療薬を舌の下に投与する「舌下免疫療法」が登場し、自宅で服用できるようになりました。長期にわたり、正しく治療が行われると、アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる効果が期待できます。症状が完全におさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の減量が期待できます。ダニアレルギー性鼻炎でお悩みの方、新しい治療の扉を開けてみませんか？